

建設業関係11団体・春の褒賞祝賀会

知識、技術の継承期待

建設業関係11団体は16日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで2017年春の褒賞祝賀会を開いた。8人が受章した。

主催者を代表して山内隆司日本建設業連合会会長は「受章者の皆さまの卓越した知識と技術、経験は建設業にとっ
てかけがえのない財産であり、その財産を次の世代に大切に継承することが業界の持続的発展のために不可欠と認識している。引き続きのご活躍を期待するとともに後進へのご指導をお願いしたい。担

い手の確保・育成、働き方改革、生産性向上などさまざまな課題を克服し、産業として持続的に発展するため、業界が丸となって多岐にわたる取り組みを推進していく」とあいさつした。

来賓の石井啓一国土交通相は「建設業のこれからは皆さまが蓄積された豊かな知識や経験、高い技術が必要不可欠となる。引き続き、業界の発展や後進の指導に力を発揮していただきたい」と祝辞を寄せた。

受章者を代表して本庄浩二明豊建設社長は「本日の受章を契機に、いままで以上に心を引き締め、建設業の振興や発展はもとより、社会の一員として国政の発展に一層の努力をしていきたい」と謝辞を述べた。写真。

続いて小野徹全国中小建設業協会副会長が「建設業が国民の安全安心を守る重責を果たすためには将来の担い手確保と育成が重要な課題であり、その解決には皆さまの抱負な知識と経験が不可欠となる。業界のさらなる発展のため、引き続き活躍していただきたい」と述べ、乾杯した。

